



子どもの学びを認め、生かす授業を目指して

校長 見原 仁

教師にとって学校で一番大事な時間は、授業です。私は、年度始に必ず職員に伝えています。職員もそう思って、授業を大事にしています。

しかし、この授業が難しいのです。何が難しいかというと、授業のねらいに向け、教師が思い描いた授業の流れどおりに行くことが少ないのです。私が担任の頃を振り返ると、思い描いたとおりに流れる授業はありませんでした。強いて言えば、5分、10分位は、思い描いたとおりに流れた、と言える授業が年に数回あった程度です。

なぜ思い描いたとおりにならなかったのでしょうか。それは、子どもの反応が教師の予想と異なり、別な方向へ進むからです。教師の子どもの反応の予想が未熟だからです。では、子どもの反応をより細かく想定すればよい、となるのでしょうか。私は、それだけではだめだ、と考えています。背景に、教師が子どもをコントロールしようとする意識があるからです。

これからの授業は、授業のねらいに向かって、子どもが自ら考えた思考を、友達同士で伝え合い、相談し合いながら解を求めていく、その過程を教師が支援していくことが重要です。

先日、ある学年の算数の授業を見ていたら、教師の意図していた流れと異なる授業になっていました。翌日、その続きをやったそうですが、なかなか意図通りに行かないので、子どもたちで相談しながら、解を求めさせたところ、生き生きと学び合い解を求めたそうです。ある女の子は「考えが伝わった。すっきりした。」と授業後に話していたそうです。

この話を全職員に伝えると、他の学級でも、同様に子どもたちに相談しながら解を求めさせたら、生き生きと学んだ、と報告を受けました。教師が子どもをコントロールせず、子どもが自ら学び合うことに価値があることを裏付ける事実です。

先日、当校では、新潟市立上所小学校の志田倫明先生をお招きし、授業研修会を行いました。6年2組の子どもたちに、算数の授業をしていただきました。上の写真がその様子です。志田先生の授業は、まさに子どもが学ぶ、子どもの学びを生かす授業でした。子どもが生き生きと学んでいました。その後のご講義でも、当校の職員は多くのことを学びました。この研修を生かし、個々の子どもの学びを認め、生かす授業改善に努めてまいります。



ほ う な い

第3号

村上市立保内小学校
強い力 豊かな心

〒959-3107

村上市下鍛冶屋 264-2

TEL 0254-62-2302

FAX 0254-62-5553

school@honai-e.murakami.ed.jp

子どもたちが大活躍！ 運動会



選手宣誓



応援合戦



徒競走 向かい風の中精一杯走りました



6年 メロディーズ



中学年 はらこ送り



低学年 玉入れ



高学年 綱引き



全校 よさこいソーラン

5月24日（土）に運動会を行いました。暑さを心配することなく実施することができました。開会式では、1～3年生の代表児童による意気込み発表、応援団長による選手宣誓が行われました。その後、白組、赤組による応援合戦が行われました。どちらも、声の揃った迫力のある応援でした。

競技の最初は、各学年の徒競走です。強い向かい風でしたが、子どもたちは、練習の成果を発揮し、精一杯走っていました。次は、6年生のメロディーズです。動きも大変揃っていて、素晴らしい演奏でした。昨年度から練習を積み重ねてきた成果を見せてくれました。その後は、中学年「清流荒川 はらこ運び」、低学年「投げて！ 踊って！ チェッコリ玉入れ」、高学年「保内っ子の底力を見せつけろ！ お助け綱引き」を行いました。運ぶ、投げる、引く。子どもたちは、力強さを表現していました。閉会式前には、全校でよさこいソーランを踊りました。運動委員会が前に立ちリードしながら、力強く颯爽と踊りました。

閉会式では、応援と競技の結果が発表され、応援優勝は赤組、競技の優勝も赤組でした。わずか2点差の勝利でした。子どもたちが全力で取り組み、力を尽くした運動会となりました。応援団、高学年の活躍も素晴らしかったです。心に残る運動会となりました。

ご来賓の皆様、また、多くの保護者、ご家族の皆様からご来場いただき、子どもたちに大きな声援を送っていただきました。心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

赤組 白組 応援団長の言葉

赤組応援団長 河内 理桜

練習でうまくいったことが本番でうまくいかず、たくさん間違えることもあったけど、友達や先生がたくさん支えてくれて運動会を楽しむことができました。運動会を通して、6年1組の絆がより深まりました。赤組のみんなと心をつなげて白組とぶつかりあってW優勝できてよかったです。最後の運動会、いい経験になりました。



白組応援団長 渡邊 修也

ぼくは、今までの応援団の人たちの姿を見て、カッコいいなと思い、応援団長に立候補しました。団員と一緒に第2応援歌の音楽を決めたり、たくさん練習したりしました。全校のみんなもたくさん練習してくれました。けれど、結果は赤組のW優勝でした。くやしかったけれど、白組のみんなと最後まで全力であきらめずに戦い続けることができました。最高の思い出になりました。



3年生がリコーダーを 教えていただきました

6月5日（木）、3年生が指導者を招いてリコーダーの学習をしました。最初は、リコーダーの持ち方を

教えていただき、その後、穴の押さえ方を教えていただきました。次に、シヤラの音を出しました。きれいな音色を出すためには、強く吹きすぎないように「しゃぼん玉をつくるイメージで息を吹く」ことなども教えていただきました。最後にはきれいな音を響かせることができ、子どもたちもリコーダーへの関心が一層高まったようです。



大変お世話になりました

5月末で、佐藤早苗介助員が退職となりました。7年間大変お世話になりました。



介助員 佐藤 早苗 (退職)

米坂線の跨線橋を渡ると、アコスの向こう側にとんがり屋根の時計台が見えてきます。保内小学校です。それを目指して7年間通いました。子どもたちのやさしさに触れながら、一緒になって「先生、大人げない」と笑われながらも、ともに歩いてきた、とっても楽しい7年間でした。みんな、ありがとう！

よろしくお祈いします

佐藤 早苗介助員の退職に伴い、6月より磯部千春介助員が赴任しました。よろしくお祈いいたします。



介助員 磯部 千春 (新採用)

保内小学校の皆さん、はじめまして。このたび介助員として皆さんと一緒に学校生活を送ることになりました、磯部千春と申します。早く皆さんの名前を覚えて仲良く過ごしていきたいと思っています。これからどうぞよろしくお祈いします。

プール清掃を行いました



5月30日(金)に、6年生がプール清掃を行いました。デッキブラシやたわしなどで、プールの底や壁面、シャワーなどをきれいにしました。小さな汚れにも気づき、一生懸命掃除をしてくれました。おかげで大変きれいになりました。前日の5月29日(木)には、5年生がプールサイドをきれいにしました。高学年の活躍のおかげで、6月23日(月)から、水泳授業を行うことができます。

租税教室を行いました



5月28日(水)、6年生が税金について学習しました。この学習は、毎年、村上法人会の方々が講師となり、税金の使い方や税金がなかったらどうなるのかについて教えてくださいました。最後に、一人一人に1億円を持つ体験をさせていただきました。6年生は「重い！」とロクに話していました。